



沿道の声援を受け  
力走する子どもたち



会場内に設けられたスポーツチャンバラのコーナーで遊ぶ子どもたち

# しものせき トピックス

Shimonoseki Topics

## 豊北総合支所 新庁舎竣工式

2月22日、地元自治会関係者などが出席して豊北総合支所新庁舎の竣工式がありました。新庁舎は、鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積2298平方メートル、豊北総合支所管内の防災緊急対応拠点とするため、耐震性の高い庁舎となりました。

吹き抜けの配置により暖かい光が差し込む新庁舎では、内覧会その他、豊北吹奏楽団による祝賀演奏も行われました。



豊北総合支所新庁舎

## 走った！豊浦リフレッシュマラソン

2月23日、豊浦リフレッシュマラソンがあり、853人が参加しました。豊浦リフレッシュパークを発着点に、エンジョイコース（1キ）とチャレンジコース（2.5・10キ）に分かれ、参加者は青空の下、元気に走り抜き、走った後は、無料でうどんが振る舞われました。

当日は、市のマスコットキャラクター「ほたるん」や「クスジ」たちが応援に駆けつけ、沿道から大会を盛り上げていました。

## 「市報しものせき」制作ボランティアに感謝状

より親しみやすく読みやすい市民参加の市報として、梅光学院大学子ども学部子ども未来学科の学生に小中学生向けの「しものせきキッズページ」の取材、編集を平成22年5月号から担当していただいています。

1年間の協力に対し感謝の意を表すため、2月26日、市長が同学生に感謝状を贈りました。来月号からも引き続き同大学の学生がキッズページを担当します。



感謝状を受け取った学生と教授(右)と中尾市長

## 史跡散策 史跡の道ウォーク

3月9日、考古博物館周辺の遺跡散策コース「史跡の道」(約4・5キ)を学芸員の案内で歩く史跡の道ウォークを開催しました。弥生時代の墓地遺跡である梶栗浜遺跡や1000基以上の貯蔵用竪穴が見つかっている綾羅木郷遺跡、山口県下第3位の前方後円墳である仁馬山古墳などの国指定史跡を中心に、綾羅木から延行地区の遺跡や古墳を巡りました。参加者は熱心に話しを聞きながら歩きました。



梶栗浜遺跡の説明を聞く参加者たち



関係者らによるテープカット

## 下関駅周辺がにぎやかに

整備中のＪＲ下関駅ビルが3月16日にオープンしました。3階建ての同ビルの1・2階にはショッピングセンターが入り、2階と人工地盤がつながって西口に抜ける連絡通路もできました。4月1日には3階に市の「ふくふくこども館」とサテライトオフィスがオープンします。駅周辺では、「エキマチ下関」も始まり官民が協力してにぎわいを創出していきます。



さまざまなイベントでにぎわった「エキマチ下関オープニングフェスタ」



ショッピングセンター「リピエ」(2階)の店内

## 震災を想定した救助訓練

市の各消防局、美祿市・長門市の消防本部も参加しました。震度6強の地震で建物が崩壊したとの想定で、参加した隊員は、がれきの下敷きになったり、取り残されたりした人を救助する実践に近い訓練に取り組みました。

解体工事中の市消防局旧庁舎で震災救助訓練が3月9日にありました。実際の災害現場に近い状況での訓練ができるとあって、近隣の北九州市、宇部・山陽小野田



3階でがれきに挟まれた要救助者を救助する訓練



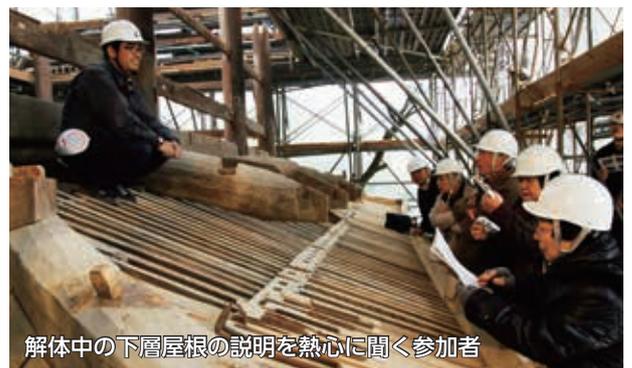
崩落した建物の3階から要救助者を救出する訓練

## 功山寺山門保存修理工事一般公開

3月9日、市指定有形文化財「功山寺山門」の保存修理工事の様子を一般公開しました。安永2(1773)年の建設後、初めてとなる大規模な修理現場を見学できるとあって、多くの人が訪れました。参加した皆さんは、解体された瓦に書かれた文字や、下層屋根部分など、普段見ることができない部分を見学して、歴史の深さを感じていました。



鬼瓦について説明



解体中の下層屋根の説明を熱心に聞く参加者